

1 生産・出荷・在庫の動向（概況）

生産は前年比で2年連続の上昇、出荷・在庫は前年比で4年連続の上昇

生産指数（原指数）は、108.3（前年比3.8%）と2年連続の上昇となった。業種別に見ると、一般機械工業、化学工業、電子部品・デバイス工業等12業種が上昇し、情報通信機械工業、窯業・土石製品工業等6業種が低下した。財別に見ると、鉱工業用生産財、資本財、非耐久消費財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財、建設財が低下した。

出荷指数（原指数）は、107.3（同3.6%）と4年連続の上昇となった。業種別に見ると、一般機械工業、化学工業、石油・石炭製品工業等9業種が上昇し、食料品・たばこ工業、電子部品・デバイス工業等9業種が低下した。財別に見ると、資本財、鉱工業用生産財、その他用生産財が上昇し、非耐久消費財、建設財、耐久消費財が低下した。

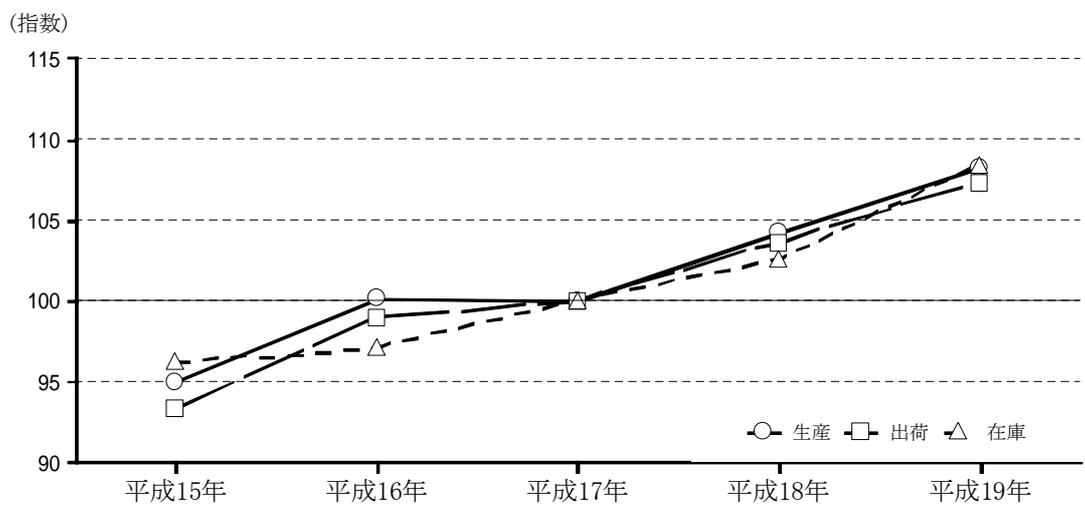
在庫指数（原指数）は、108.4（同5.7%）と4年連続の上昇となった。業種別に見ると、一般機械工業、窯業・土石製品工業、化学工業等13業種が上昇し、金属製品工業、繊維工業等3業種が低下した。財別に見ると、すべての財が上昇した。

鉱工業指数の年別推移

（平成17年＝100，原指数）

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
生産	指数	95.0	100.2	100.0	104.3	108.3
	対前年増減率(%)		5.6	0.2	4.3	3.8
出荷	指数	93.4	99.0	100.0	103.6	107.3
	対前年増減率(%)		6.0	1.0	3.6	3.6
在庫	指数	96.3	97.1	100.0	102.6	108.4
	対前年増減率(%)		0.9	2.9	2.6	5.7

鉦工業指数の年別推移



(1) 生産

生産指数(原指数)は108.3で、前年比3.8%の上昇

ア 業種別前年比 * () は対前年比

(上昇した業種)

一般機械工業(8.7%), 化学工業(5.2%), 電子部品・デバイス工業(11.3%), 電気機械工業(6.7%), 鉄鋼業(4.7%), その他工業(5.0%), 精密機械工業(22.0%), 食料品・たばこ工業(0.5%), 石油・石炭製品工業(14.1%), 輸送機械工業(0.9%), パルプ・紙・紙加工品工業(0.5%), 鉱業(1.8%)

(低下した業種)

情報通信機械工業(18.2%), 窯業・土石製品工業(5.1%), プラスチック製品工業(2.1%), 金属製品工業(1.8%), 繊維工業(8.6%), 非鉄金属工業(1.0%)

イ 財別前年比 * () は対前年比

(上昇した財)

鉱工業用生産財(4.5%), 資本財(9.3%), 非耐久消費財(0.2%),

(低下した財)

耐久消費財 (7.9%), その他用生産財(5.6%), 建設財(2.1%)

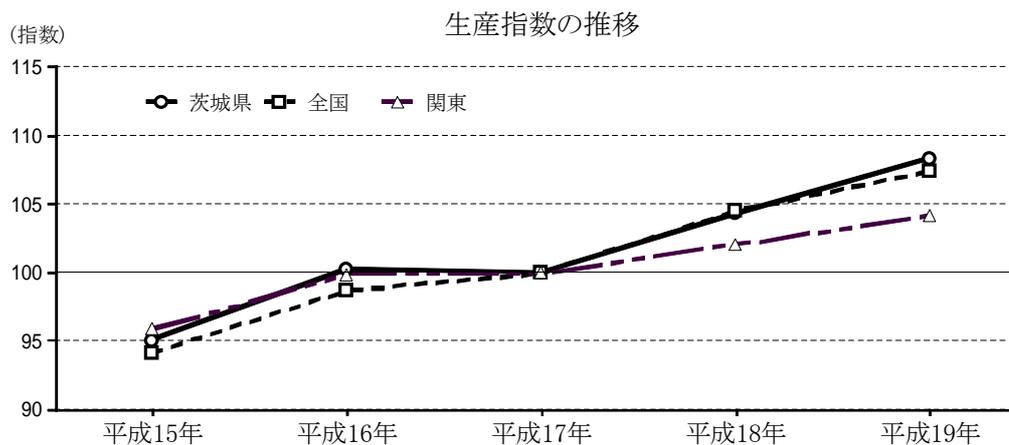
生産指数の推移

(平成17年=100, 原指数)

		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
茨城県	指 数	95.0	100.2	100.0	104.3	108.3
	対前年増減率(%)	—	5.6	0.2	4.3	3.8
関東地域	指 数	95.9	99.8	100.0	102.0	104.1
	対前年増減率(%)	—	4.1	0.2	2.0	2.1
全国	指 数	94.1	98.7	100.0	104.5	107.4
	対前年増減率(%)	—	4.9	1.3	4.5	2.8

※関東経済産業局管内

資料 関東地域・全国：経済産業省



生産指数業種別寄与度

業 種	ウェイト	対前年比(%)	寄与度(%)
鉱工業	10,000.0	3.8	3.8
製造工業	9,995.4	3.8	3.8
鉄鋼業	916.2	4.7	0.4
非鉄金属工業	429.6	1.0	0.0
金属製品工業	627.0	1.8	0.1
一般機械工業	1,668.6	8.7	1.6
電気機械工業	925.1	6.7	0.6
情報通信機械工業	159.1	18.2	0.4
電子部品・デバイス工業	633.4	11.3	0.8
輸送機械工業	210.7	0.9	0.0
精密機械工業	46.2	22.0	0.1
窯業・土石製品工業	395.5	5.1	0.2
化学工業	1,598.6	5.2	0.8
石油・石炭製品工業	34.6	14.1	0.0
プラスチック製品工業	725.7	2.1	0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	118.4	0.5	0.0
繊維工業	57.7	8.6	0.0
食料品・たばこ工業	1,083.6	0.5	0.1
その他工業	365.4	5.0	0.2
鉱業	4.6	1.8	0.0

(2) 出荷

出荷指数(原指数)は 107.3 で、前年比 3.6%の上昇

ア 業種別前年比 * () は対前年比

(上昇した業種)

一般機械工業(9.4%), 化学工業(5.8%), 石油・石炭製品工業(19.9%),
電気機械工業(8.4%), 輸送機械工業(7.3%), 鉄鋼業(3.2%), 精密機械工業(26.8%),
その他工業(3.6%), 非鉄金属工業 (0.8%),

(低下した業種)

食料品・たばこ工業(2.3%), 電子部品・デバイス工業(4.4%), 金属製品工業
(4.2%), 情報通信機械工業(13.8%), プラスチック製品工業(1.4%)
窯業・土石製品工業(1.6%), パルプ・紙・紙加工品工業(1.9%),
繊維工業(1.3%), 鉱業(8.0%)

イ 財別前年比 * () は対前年比

(上昇した財)

資本財(9.9%), 鉱工業用生産財(3.2%), その他用生産財(3.4%)

(低下した財)

非耐久消費財(1.7%), 建設財(1.8%)耐久消費財(2.7%),

出荷指数の推移

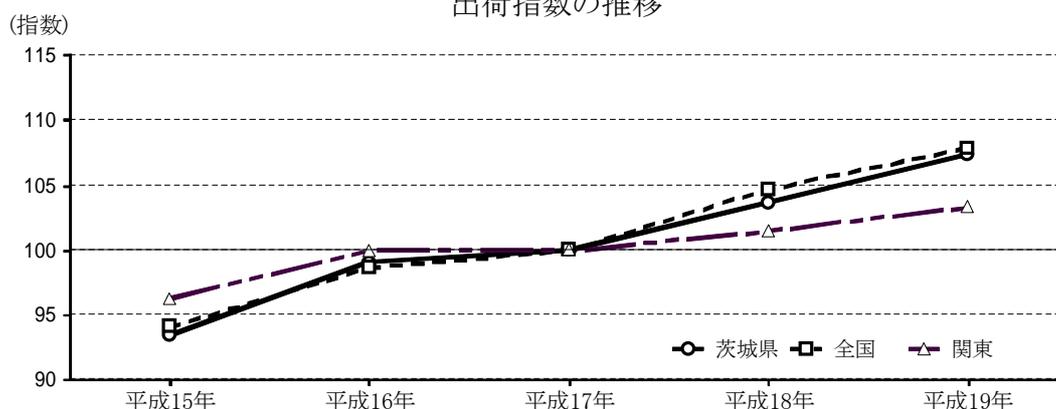
(平成 17 年=100, 原指数)

		平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
茨城県	指 数	93.4	99.0	100.0	103.6	107.3
	対前年増減率(%)	—	6.0	1.0	3.6	3.6
関東地域	指 数	96.2	99.9	100.0	101.4	103.3
	対前年増減率(%)	—	3.8	0.1	1.4	1.9
全国	指 数	94.1	98.6	100.0	104.6	107.8
	対前年増減率(%)	—	4.8	1.4	4.6	3.1

※関東経済産業局管内

資料 関東地域・全国：経済産業省

出荷指数の推移



出荷指数業種別寄与度

業 種	ウェイト	対前年比(%)	寄与度(%)
鉱工業	10,000.0	3.6	3.6
製造工業	9,998.7	3.6	3.6
鉄鋼業	767.4	3.2	0.2
非鉄金属工業	576.1	0.8	0.0
金属製品工業	542.3	4.2	0.2
一般機械工業	1,776.1	9.4	1.8
電気機械工業	818.4	8.4	0.7
情報通信機械工業	124.9	13.8	0.2
電子部品・デバイス工業	529.0	4.4	0.3
輸送機械工業	330.4	7.3	0.2
精密機械工業	37.1	26.8	0.1
窯業・土石製品工業	294.3	1.6	0.0
化学工業	1,385.1	5.8	0.8
石油・石炭製品工業	402.3	19.9	0.7
プラスチック製品工業	697.2	1.4	0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	141.7	1.9	0.0
繊維工業	43.6	1.3	0.0
食料品・たばこ工業	1,247.2	2.3	0.3
その他工業	285.6	3.6	0.1
鉱業	1.3	8.0	0.0

(3) 在庫

在庫指数(原指数)は 108.4 で、前年比 5.7%の上昇

ア 業種別前年比 * () は対前年比

(上昇した業種)

一般機械工業(20.2%), 窯業・土石製品工業(8.8%), 化学工業(3.9%),
非鉄金属工業(13.0%), その他工業(13.8%), 電気機械工業(6.6%),
食料品・たばこ工業(3.8%), 鉄鋼業(1.1%), 情報通信機械工業(38.7%),
石油・石炭製品工業(2.5%), プラスチック製品工業(0.6%),
パルプ・紙・紙加工品工業(1.8%), 鉱業(11.3%),

(低下した業種)

金属製品工業(5.5%), 繊維工業(18.9%), 電子部品・デバイス工業(3.1%)

イ 財別前年比 * () は対前年比

(上昇した財)

資本財(20.8%), 鉱工業用生産財(3.0%), 建設財(4.5%), 耐久消費財(13.4%),
非耐久消費財(3.7%), その他用生産財(0.0%)

(低下した財)

なし

在庫指数の推移

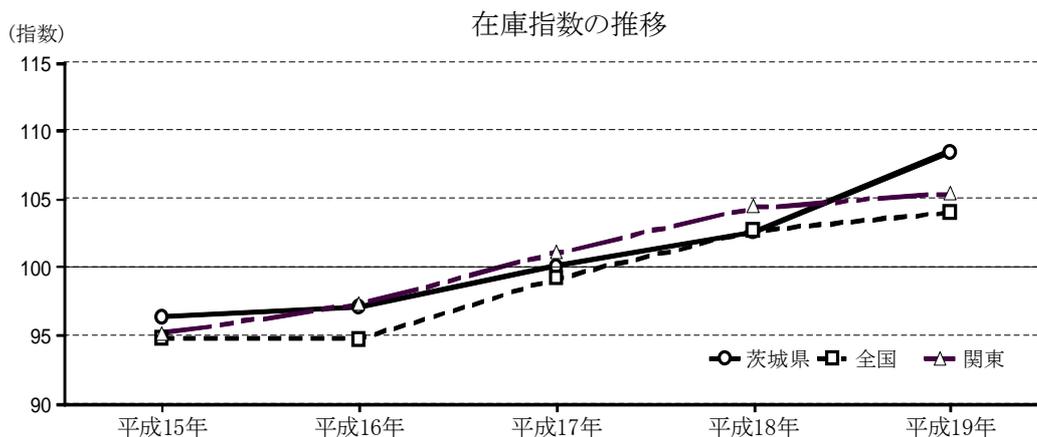
(平成 17 年=100, 原指数)

		平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
茨城県	指 数	96.3	97.1	100.0	102.6	108.4
	対前年増減率(%)	—	0.9	2.9	2.6	5.7
関東地域	指 数	95.1	97.3	101.1	104.5	105.4
	対前年増減率(%)	—	2.3	3.9	3.4	0.9
全国	指 数	94.8	94.7	99.2	102.7	104.0
	対前年増減率(%)	—	0.1	4.8	3.5	1.3

(注) 全国・関東の指数は期末値

※関東経済産業局管内

資料 関東地域・全国：経済産業省



在庫指数業種別寄与度

業 種	ウェイト	対前年比(%)	寄与度(%)
鉱工業	10,000.0	5.7	5.7
製造工業	9,996.5	5.7	5.7
鉄鋼業	1,559.6	1.1	0.2
非鉄金属工業	576.4	13.0	0.7
金属製品工業	741.2	5.5	0.3
一般機械工業	1,022.6	20.2	2.2
電気機械工業	316.7	6.6	0.2
情報通信機械工業	35.1	38.7	0.1
電子部品・デバイス工業	169.4	3.1	0.1
輸送機械工業	26.6	x	x
精密機械工業	—	—	—
窯業・土石製品工業	1,036.4	8.8	0.9
化学工業	2,044.8	3.9	0.8
石油・石炭製品工業	311.2	2.5	0.1
プラスチック製品工業	1,107.7	0.6	0.1
パルプ・紙・紙加工品工業	143.4	1.8	0.0
繊維工業	96.5	18.9	0.2
食料品・たばこ工業	526.9	3.8	0.2
その他工業	282.0	13.8	0.4
鉱業	3.5	11.3	0.0

(4) 四半期別の動き(季節調整済指数)

ア 生産

生産指数は、平成19年1～3月期が106.0(対前期比0.4%)、4～6月期が108.6(同2.5%)、7～9月期が109.0(同0.4%)、10～12月期が110.2(同1.1%)と、平成18年7～9月期以降6期連続で上昇した。

イ 出荷

出荷指数は、平成19年1～3月期が106.0(対前期比1.3%)、4～6月期が107.4(同1.3%)、7～9月期が108.1(同0.6%)、10～12月期が108.3(同0.2%)と、平成18年7～9月期以降6期連続で上昇した。

ウ 在庫

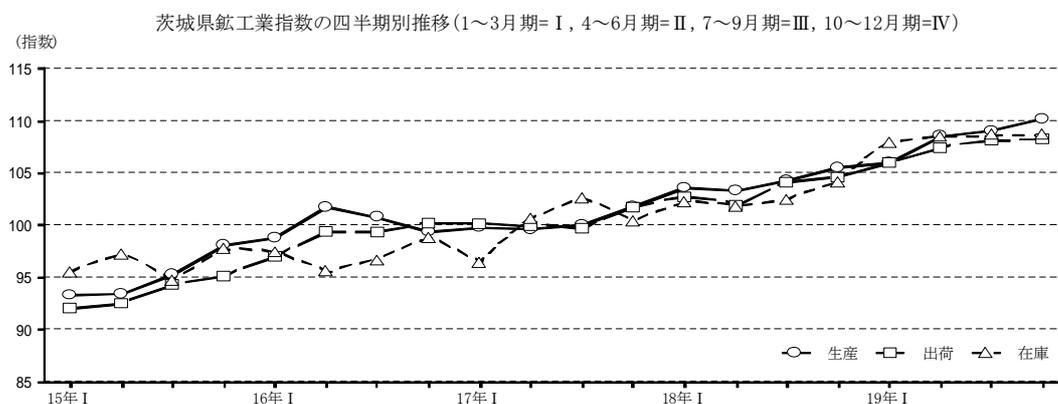
在庫指数は、平成19年1～3月期が107.9(対前期比3.7%)、4～6月期が108.5(同0.6%)、7～9月期が108.7(同0.1%)、10～12月期が108.7(同0.0%)と、平成18年7～9月期以降6期連続で上昇した。

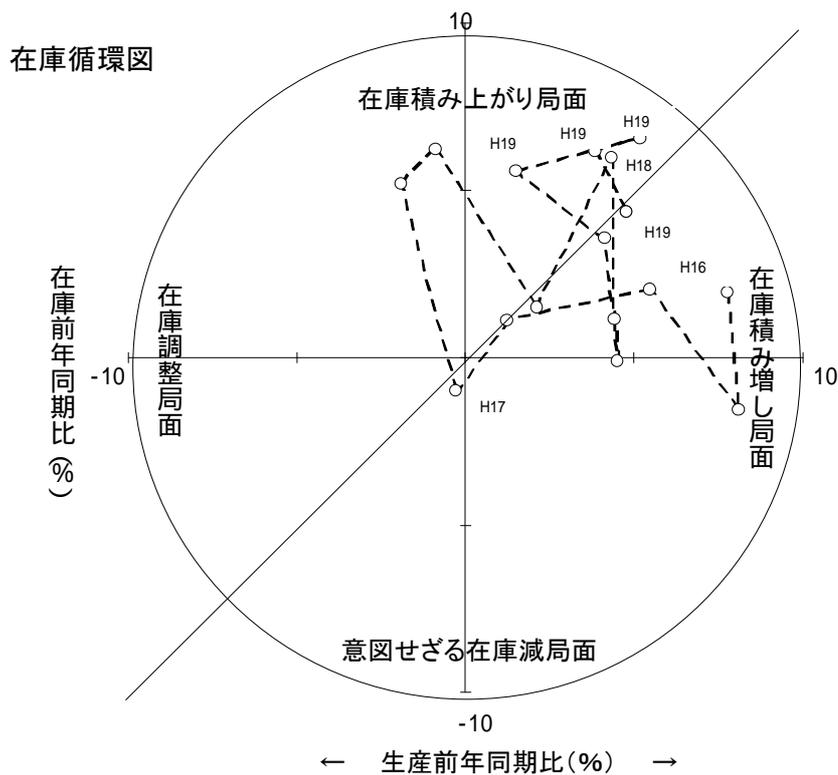
鉱工業指数の四半期別推移

(平成17年=100, 季節調整済指数)

		平成17年				平成18年				平成19年			
		1～3 月期	4～6 月期	7～9 月期	10～12 月期	1～3 月期	4～6 月期	7～9 月期	10～12 月期	1～3 月期	4～6 月期	7～9 月期	10～12 月期
生産	指数	99.8	99.6	100.0	101.8	103.6	103.3	104.3	105.5	106.0	108.6	109.0	110.2
	対前期増減率(%)	0.4	0.1	0.3	1.9	1.7	0.3	1.0	1.2	0.4	2.5	0.4	1.1
	対前年同期増減率(%)	0.3	1.9	0.9	2.1	4.3	4.4	4.5	4.1	1.5	5.2	3.8	4.8
出荷	指数	100.1	99.9	99.7	101.7	102.7	101.9	104.1	104.6	106.0	107.4	108.1	108.3
	対前期増減率(%)	0.1	0.2	0.3	2.1	1.0	0.8	2.2	0.5	1.3	1.3	0.6	0.2
	対前年同期増減率(%)	1.7	0.8	0.2	1.3	3.0	3.0	4.7	3.6	2.2	5.4	2.9	3.9
在庫	指数	96.4	100.6	102.6	100.4	102.2	101.8	102.4	104.1	107.9	108.5	108.7	108.7
	対前期増減率(%)	2.4	4.4	2.0	2.2	1.8	0.4	0.6	1.6	3.7	0.6	0.1	0.0
	対前年同期増減率(%)	1.0	5.2	6.2	1.5	6.0	1.2	0.1	3.6	5.6	6.6	6.2	4.4

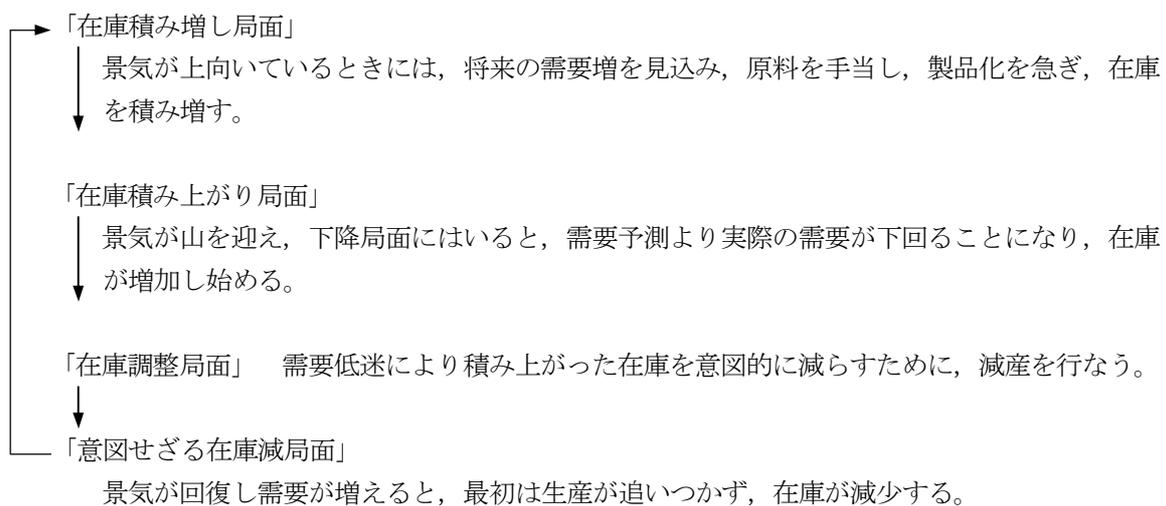
(注)対前年同期増減率は原指数による。





在庫循環図

縦軸に在庫、横軸に生産の前年同期比 (%) をとり、その関係を表したもの。45° 線よりも下方の場合には景気循環の拡張局面、上方の場合は後退局面とほぼ一致すると考えられ、次のように反時計回りに推移する傾向がある。



在庫循環の動向

平成 19 年の生産と在庫の動向を見ると、生産の前年同期比は、I 期から IV 期まで上昇しており、在庫の前年同期比は、I 期から IV 期まで上昇した。

在庫循環は、I 期から III 期には「在庫積み上がり局面」に、IV 期には「在庫積み増し局面」にある。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

ア 生産

生産指数は105.4で、前年比4.7%の上昇

(増加した品目) 亜鉛めっき鋼板, 特殊鋼冷延広幅帯鋼,
普通鋼冷延広幅帯鋼 等

(減少した品目) 特殊鋼熱間圧延鋼材, 鋼板 等

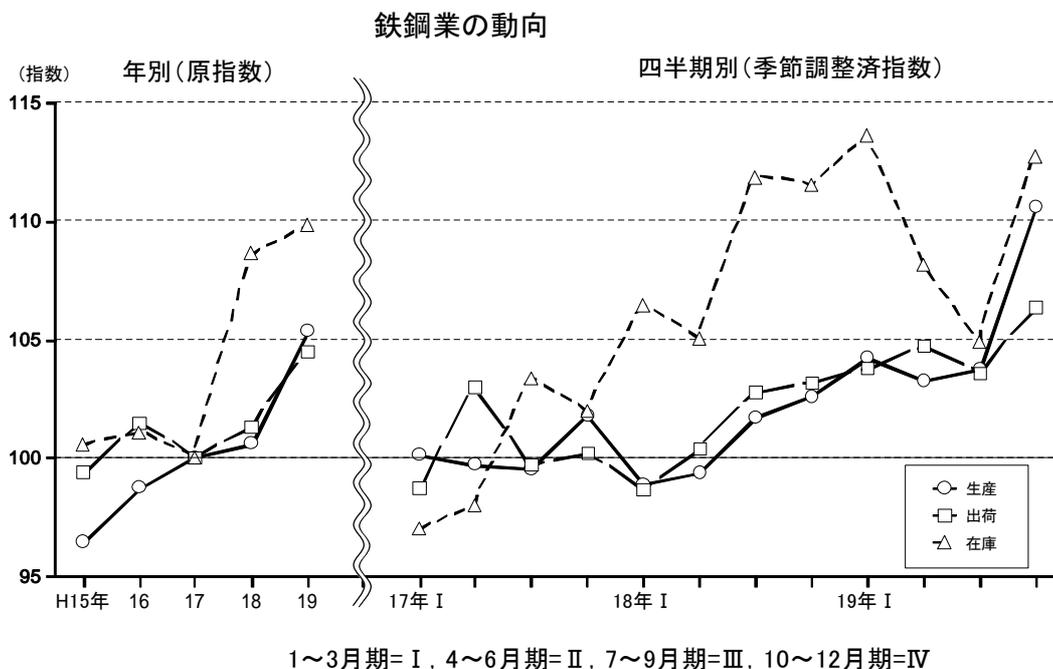
イ 出荷指数は104.5で、前年比3.2%の上昇

ウ 在庫指数は109.8で、前年比1.1%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は1.6%、4～6月期は1.0%、7～9月期は0.5%、10～12月期は6.6%となった。

前年同期比(原指数)では、平成18年4～6月期以降7期連続で上昇した。



(2) 非鉄金属工業

ア 生産

生産指数は 103.4 で、前年比 1.0%の低下

(増加した品目) 電気銅, アルミニウム二次・二次合金地金 等

(減少した品目) 通信用ケーブル光ファイバ製品, 伸銅製品,
銅裸線 (メーカー向け心線) 等

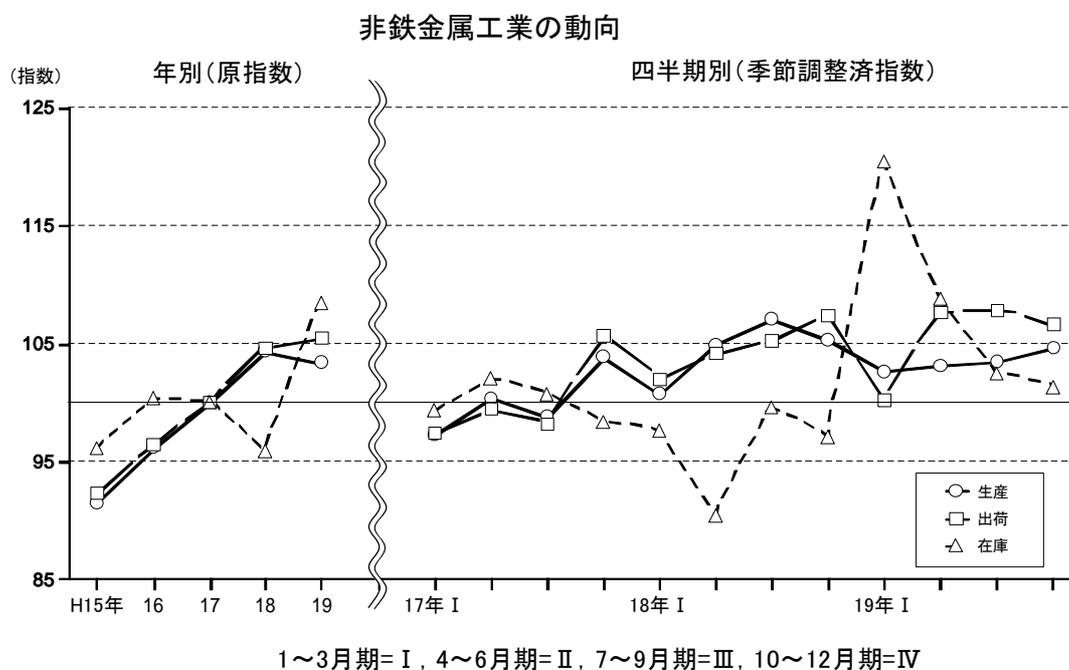
イ 出荷指数は 105.5 で、前年比 0.8%の上昇

ウ 在庫指数は 108.4 で、前年比 13.0%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は 2.5%、4～6 月期は 0.5%、7～9 月期は 0.4%、10～12 月期は 1.1%となった。

前年同期比(原指数)では、平成 15 年 4～6 月期以降 16 期連続で上昇していたが、平成 19 年 4～6 月期以降 3 期連続で低下した。



(3) 金属製品工業

ア 生産

生産指数は93.6で、前年比 1.8%の低下

(増加した品目) 超硬チップ、橋りょう 等

(減少した品目) 木造住宅用アルミニウムサッシ, 石油温水給湯暖房機,
ビル用アルミニウムサッシ 等

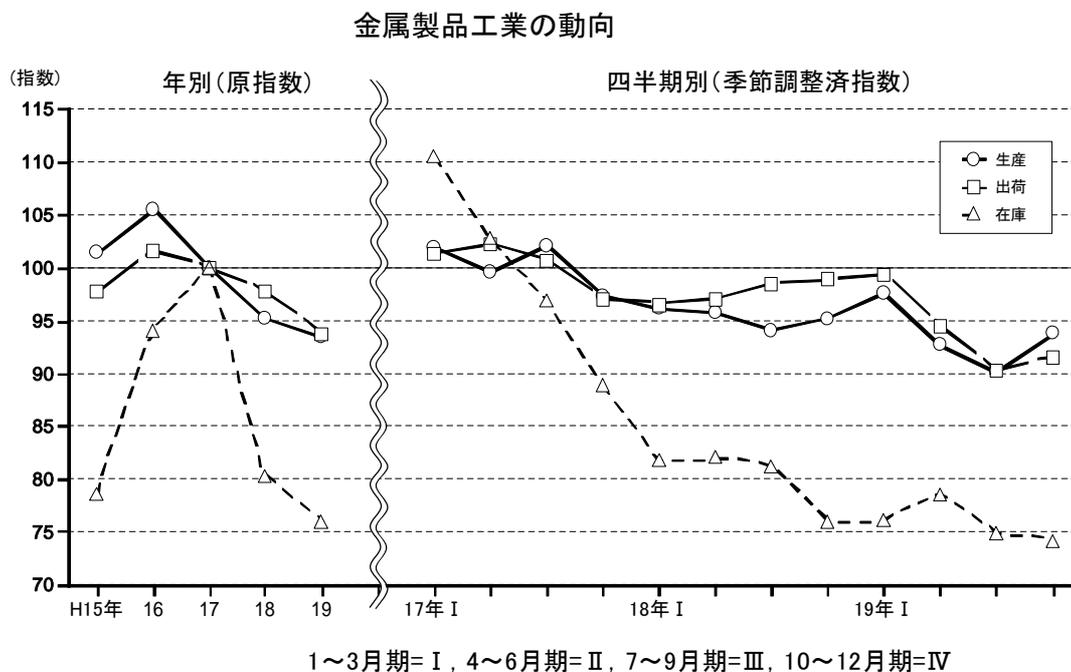
イ 出荷指数は93.7で、前年比 4.2%の低下

ウ 在庫指数は75.9で、前年比 5.5%の低下

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は2.6%、4～6月期は5.0%、7～9月期は2.8%、10～12月期は4.1%となった。

前年同期比(原指数)では、平成16年1～3月期以降8期連続で低下していたが、平成19年1～3月期に上昇し、4～6月期以降3期連続で低下した。



(4) 一般機械工業

ア 生産

生産指数は123.2で、前年比8.7%の上昇

(増加した品目) ショベル系掘削機械, 数値制御ボール盤,
油圧機器 等

(減少した品目) 空気動工具, ディーゼル機関 等

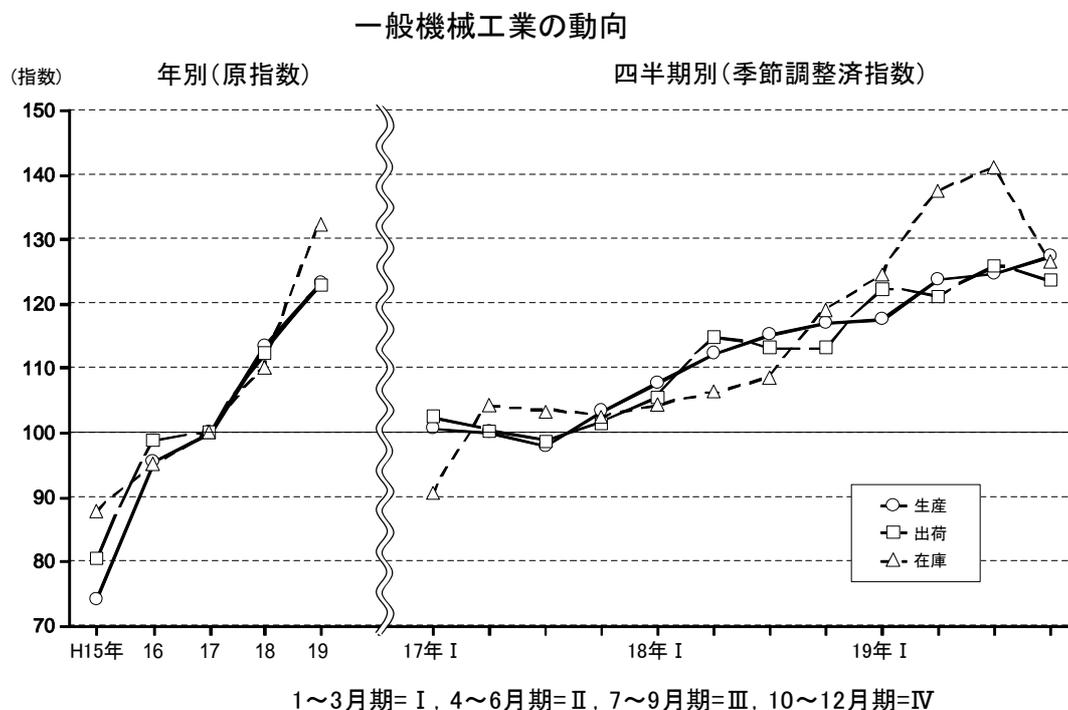
イ 出荷指数は122.8で、前年比9.4%の上昇

ウ 在庫指数は132.2で、前年比20.2%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は0.5%、4～6月期は5.2%、7～9月期は0.7%、10～12月期は2.1%となった。

前年同期比(原指数)では、平成15年4～6月期以降19期連続で上昇した。



(5) 電気機械工業

ア 生産

生産指数は113.7で、前年比6.7%の上昇

(増加した品目) 開閉制御装置, 高圧遮断器, 電気洗濯機 等

(減少した品目) 電子顕微鏡, 温水洗浄便座 等

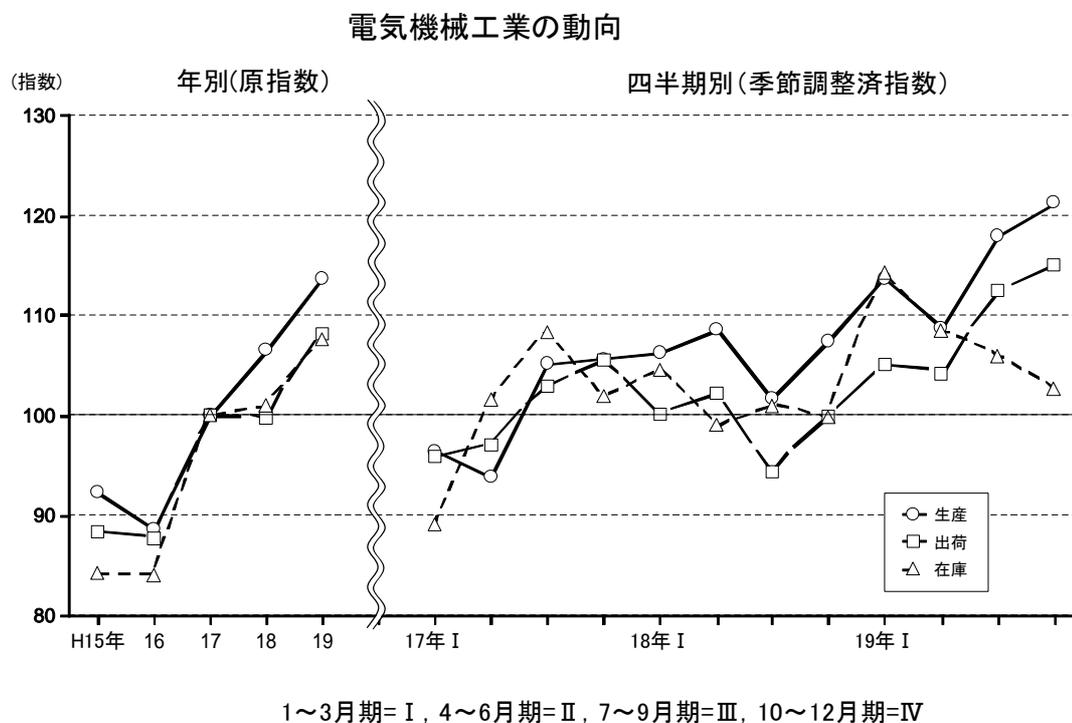
イ 出荷指数は108.1で、前年比8.4%の上昇

ウ 在庫指数は107.6で、前年比6.6%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は5.8%、4～6月期は△4.3%、7～9月期は8.5%、10～12月期は2.9%となった。

前年同期比(原指数)では、平成18年10～12月期以降2期連続で上昇していたが、平成19年4～6月期に低下し、7～9月期以降2期連続で低下した。



(6) 情報通信機械工業

ア 生産

生産指数は 105.6 で、前年比△18.2%の低下

(増加した品目) カーナビゲーション

(低下した品目) 携帯電話, プリンタ, ビデオカメラ 等

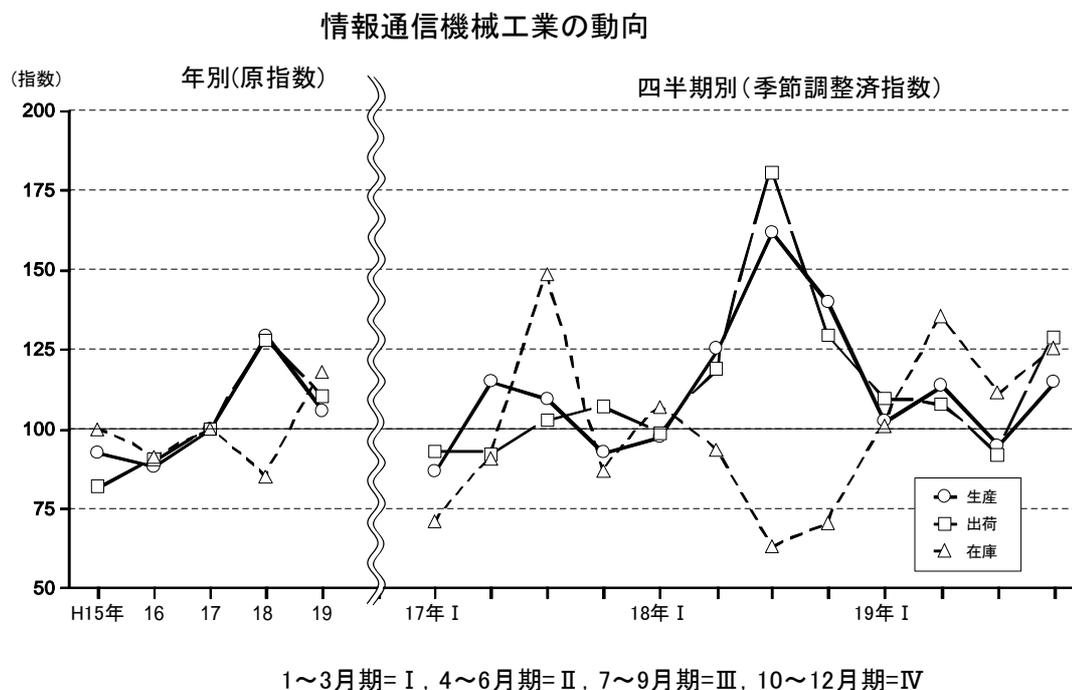
イ 出荷指数は 110.1 で、前年比△13.8%の低下

ウ 在庫指数は 117.8 で、前年比 38.7%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は△26.6%、4～6 月期は 10.9%、7～9 月期は△16.8%、10～12 月期は 21.3% となった。

前年同期比(原指数)では、平成 17 年 4～6 月期以降 8 期連続で上昇していたが、平成 19 年 4～6 月期以降 3 期連続で低下した。



(7) 電子部品・デバイス工業

ア 生産

生産指数は129.2で、前年比11.3%の上昇

(増加した品目) モス型半導体集積回路(マイコン)、コネクタ、
モス型半導体集積回路(CCD)等

(低下した品目) 光ディスク、線形半導体集積回路等

イ 出荷指数は106.9で、前年比4.4%の低下

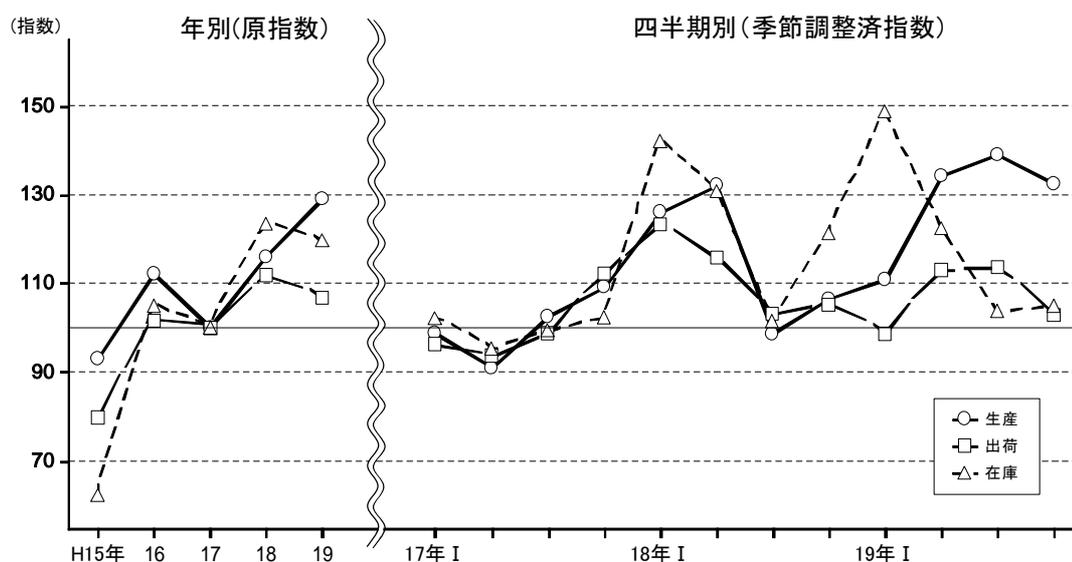
ウ 在庫指数は119.6で、前年比3.1%の低下

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は4.1%、4～6月期は21.2%、7～9月期は3.5%、10～12月期は△4.8%となった。

前年同期比(原指数)では、平成18年7～9月期以降3期連続で低下していたが、平成19年4～6月期以降3期連続で上昇した。

電子部品・デバイス工業の動向



1～3月期=Ⅰ、4～6月期=Ⅱ、7～9月期=Ⅲ、10～12月期=Ⅳ

(9) 精密機械工業

ア 生産

生産指数は 158.5 で、前年比 22.0%の上昇

(増加した品目) 分析機器

(減少した品目) 試験機, 電池式クロック

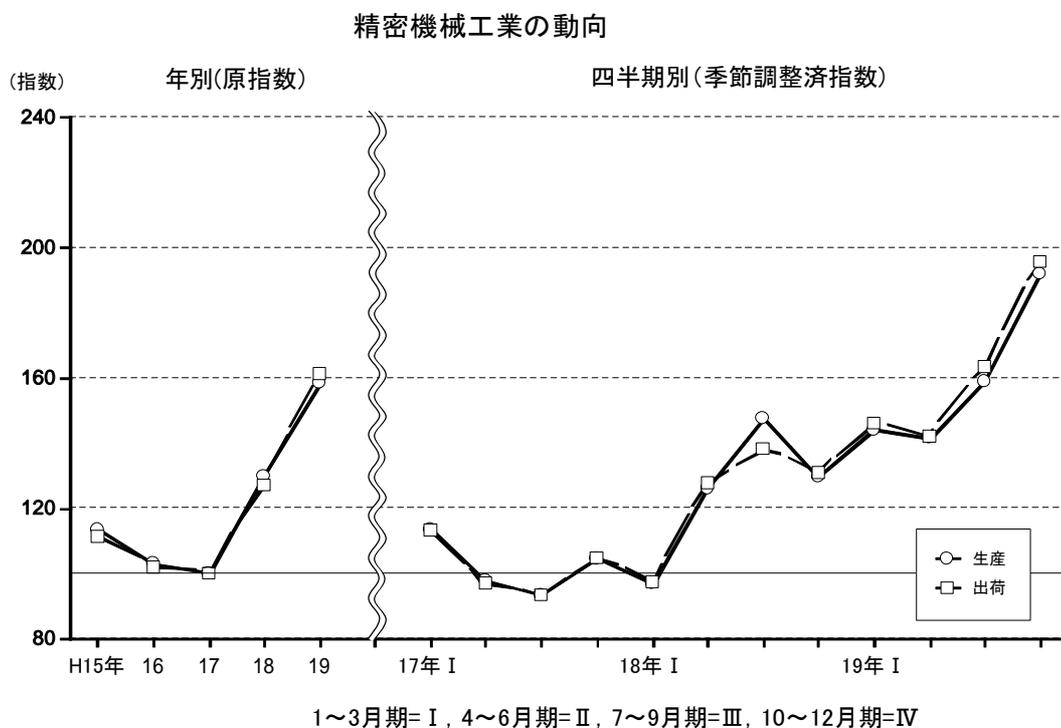
イ 出荷指数は 161.3 で、前年比 26.8%の上昇

ウ 在庫指数…非採用

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は 11.0%，4～6 月期は△1.7%，7～9 月期は 12.3%，10～12 月期は 20.8%となった。

前年同期比(原指数)では、平成 18 年 4～6 月期以降 5 期連続で上昇していたが、平成 19 年 7～9 月期以降 2 期連続で低下した。



(10) 窯業・土石製品工業

ア 生産

生産指数は 92.2 で、前年比△5.1%の低下

(増加した品目) 遠心力鉄筋コンクリートパイプ,
ファインセラミックス (一般構造材) 等

(減少した品目) ガラス長繊維, ガラス短繊維, 板ガラス 等

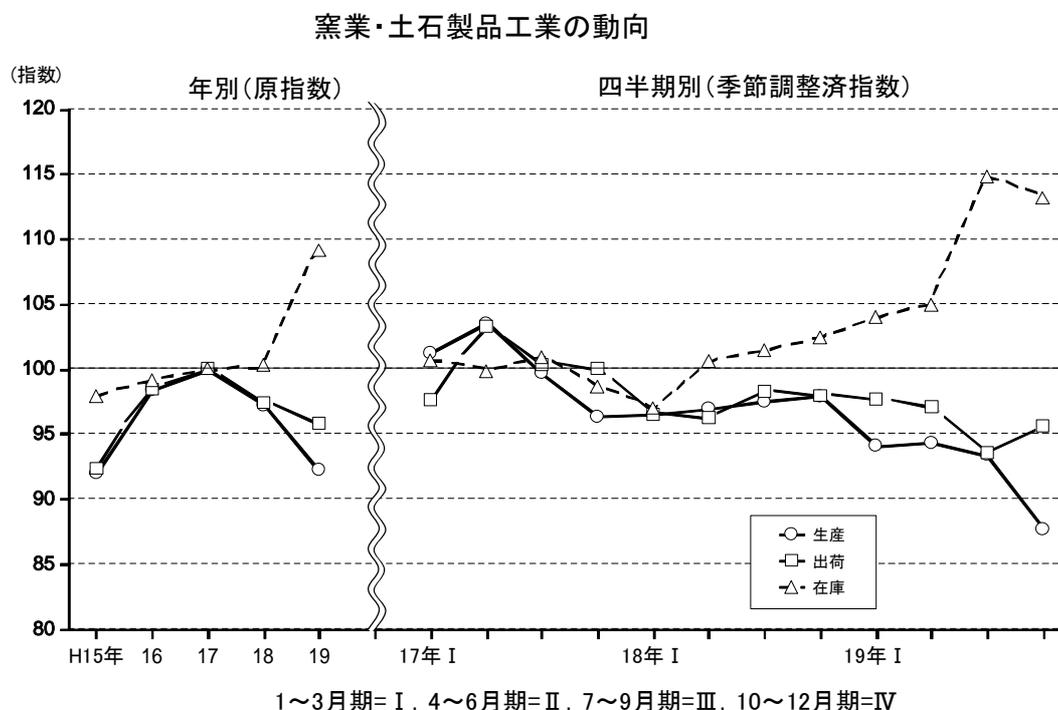
イ 出荷指数は 95.9 で、前年比△1.6%の低下

ウ 在庫指数は 109.1 で、前年比 8.1%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は△3.9%、4～6 月期は 0.2%、7～9 月期は△1.0%、10～12 月期は△6.1%となった。

前年同期比(原指数)では、平成 19 年 1～3 月期以降 4 期連続で低下した。



(11) 化学工業

ア 生産

生産指数は105.2で、前年比5.2%の上昇

(増加した品目) エチレン, 医薬品, フェノール 等

(減少した品目) ポリカーボネート, フルオロカーボン 等

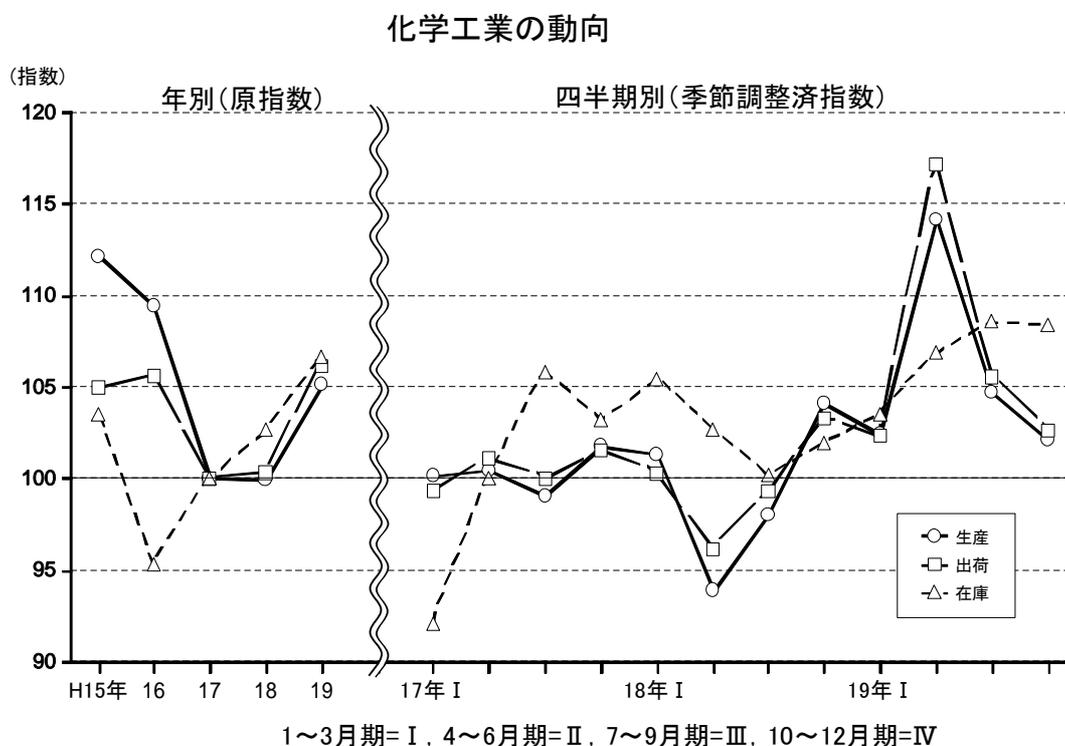
イ 出荷指数は106.1で、前年比5.8%の上昇

ウ 在庫指数は106.6で、前年比3.9%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は $\Delta 1.6\%$ 、4～6月期は 11.4% 、7～9月期は $\Delta 8.3\%$ 、10～12月期は $\Delta 2.5\%$ となった。

前年同期比(原指数)では、平成18年10～12月期以降4期連続で上昇していたが、平成19年10～12月期に低下した。



(12) 石油・石炭製品工業

ア 生産

生産指数は106.7で、前年比14.1%の上昇

(増加した品目) ガソリン, 軽油, ジェット燃料油 等

(減少した品目) 灯油, A重油 等

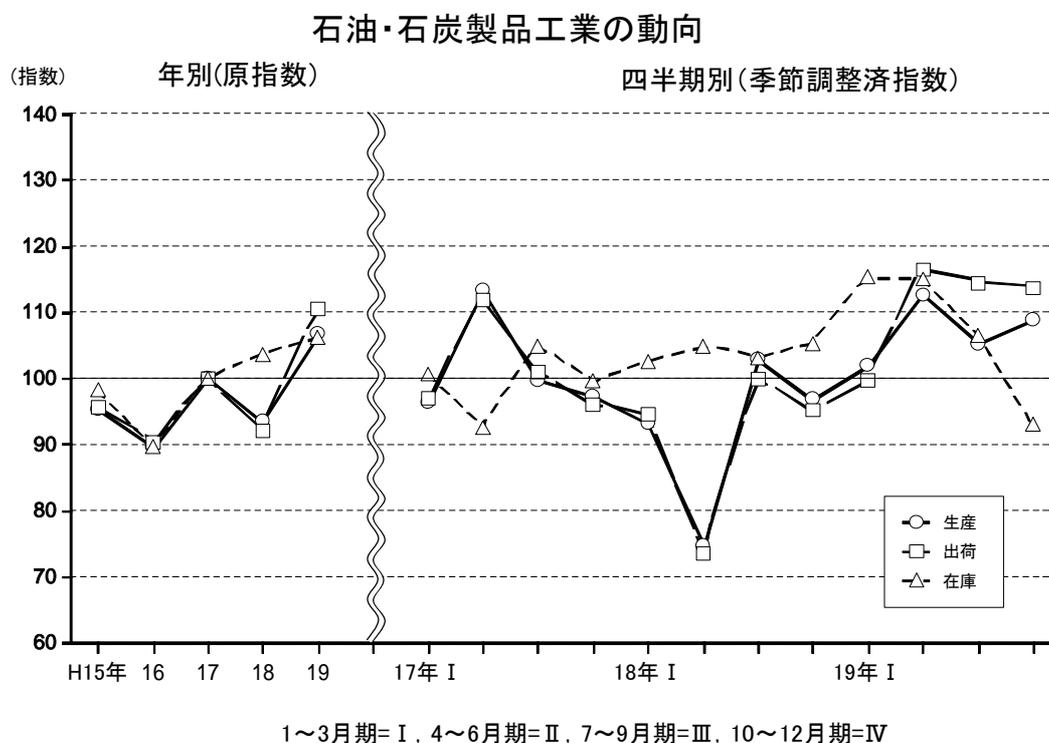
イ 出荷指数は110.5で、前年比19.9%の上昇

ウ 在庫指数は106.1で、前年比2.5%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は5.3%、4～6月期は10.4%、7～9月期は△6.6%、10～12月期は3.5%となった。

前年同期比(原指数)では、平成18年7～9月期以降4期連続で上昇していたが、平成19年7～9月期に低下し、10～12月期に上昇した。



(13) プラスチック製品工業

ア 生産

生産指数は 97.9 で、前年比△2.1%の低下

(増加した品目) プラスチック製容器 (中空成形),
強化プラスチック製品 等

(減少した品目) プラスチック製フィルム, プラスチック製シート,
発泡プラスチック製品 等

イ 出荷指数は 99.1 で、前年比△1.4%の低下

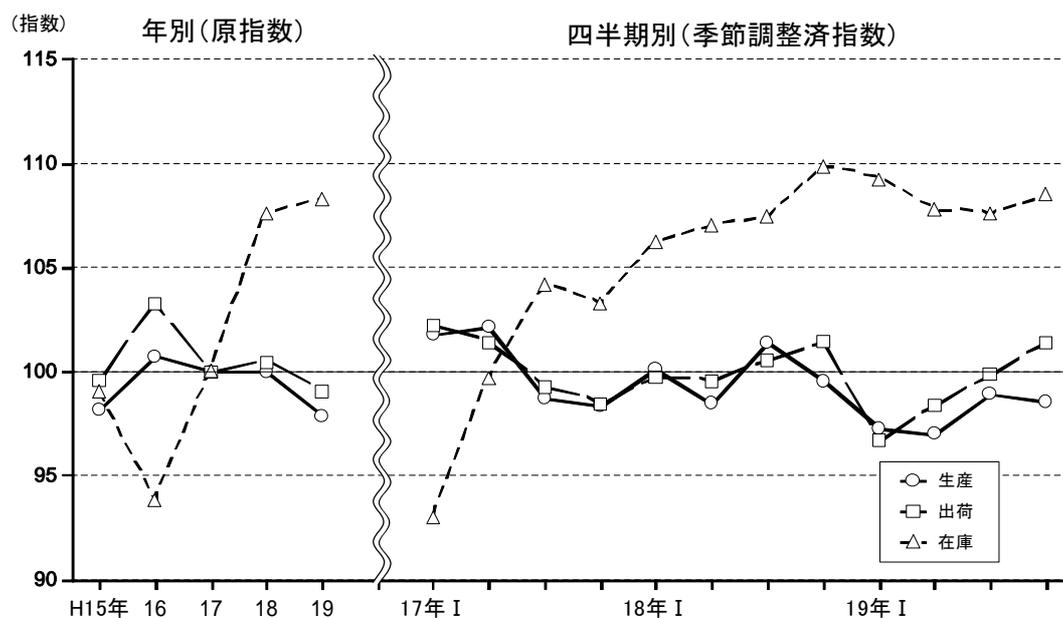
ウ 在庫指数は 108.3 で、前年比 0.6%の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は△2.3%、4～6 月期は△0.2%、7～9 月期は 2.0%、10～12 月期は△0.4%となった。

前年同期比(原指数)では、平成 18 年 7～9 月期以降 2 期連続で上昇していたが、平成 19 年 1～3 月期以降 4 期連続で低下した。

プラスチック製品工業の動向



1～3月期=Ⅰ, 4～6月期=Ⅱ, 7～9月期=Ⅲ, 10～12月期=Ⅳ

(14) パルプ・紙・紙加工品工業

ア 生産

生産指数は 100.9 で、前年比 0.5% の上昇

(増加した品目) 段ボール原紙, 段ボールシート 等

(減少した品目) 雑板紙, 紙器用板紙 等

イ 出荷指数は 97.3 で、前年比△1.9% の低下

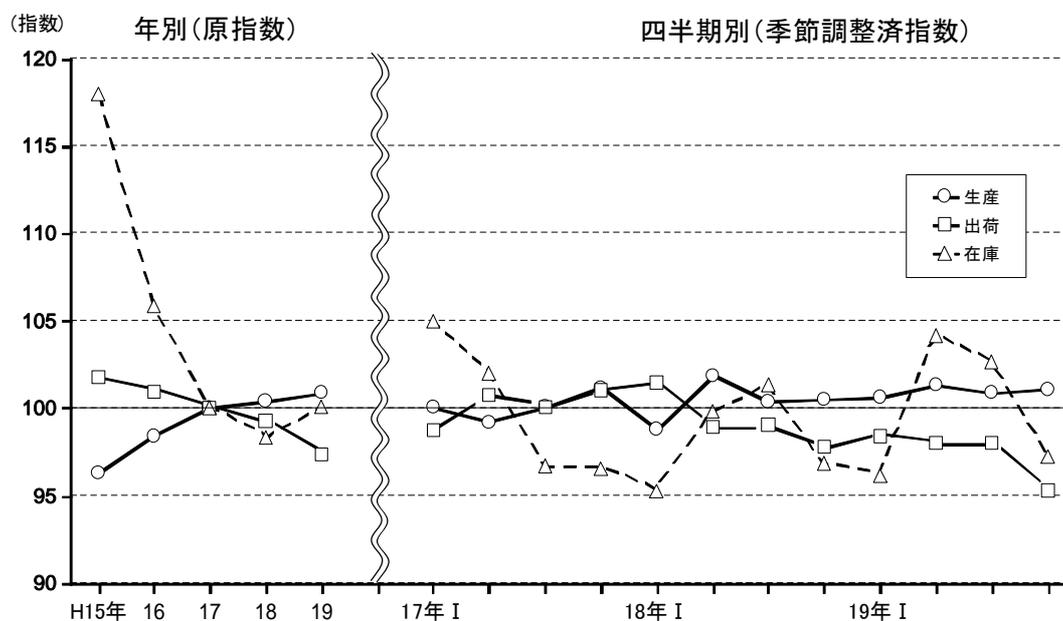
ウ 在庫指数は 100.0 で、前年比 1.8% の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は 0.1%、4～6 月期は 0.7%、7～9 月期は△0.5%、10～12 月期は 0.2% となった。

前年同期比(原指数)では、平成 19 年 1～3 月期に上昇、4～6 月期に低下し、7～9 月期以降 2 期連続で上昇した。

パルプ・紙・紙加工品工業の動向



1～3月期=Ⅰ, 4～6月期=Ⅱ, 7～9月=Ⅲ, 10～12月期=Ⅳ

(15) 繊維工業

ア 生産

生産指数は81.5で、前年比△8.6%の低下

(増加した品目) 不織布

(減少した品目) 合成繊維織物(長繊維), 織物製外衣,
絹織物 等

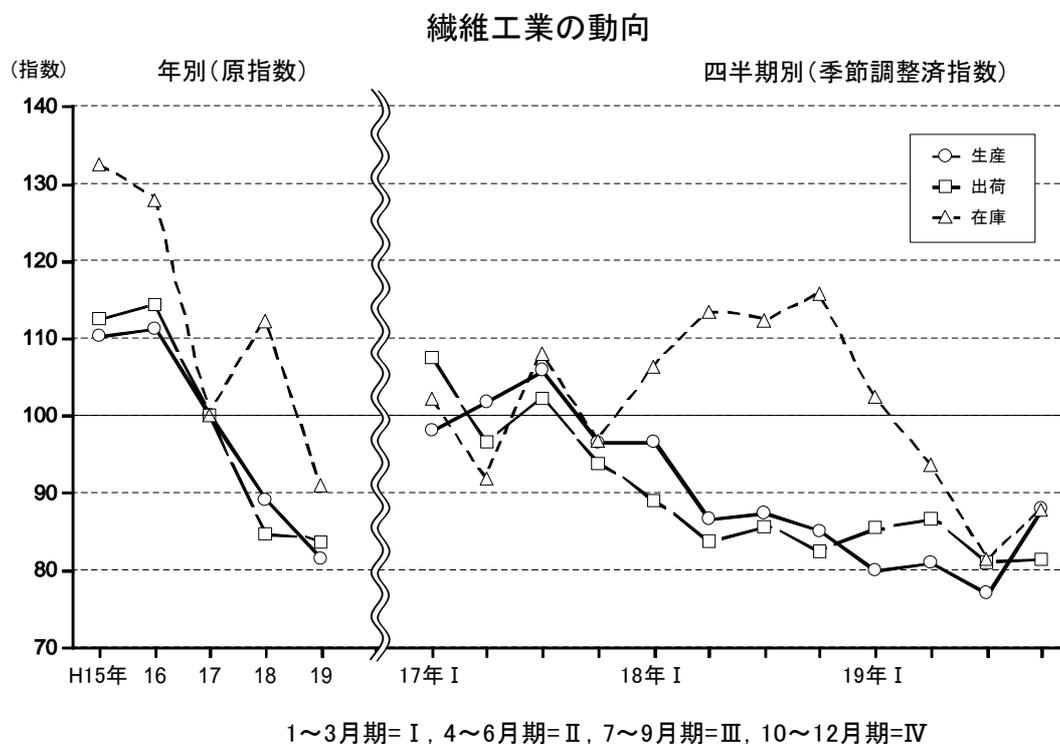
イ 出荷指数は83.6で、前年比△1.3%の低下

ウ 在庫指数は90.9で、前年比△18.9%の低下

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成19年1～3月期は△6.0%、4～6月期は1.3%、7～9月期は△4.9%、10～12月期は14.2%となった。

前年同期比(原指数)では、平成16年10～12月期以降12期連続で低下していたが、平成19年10～12月期に上昇した。



(16) 食料品・たばこ工業

ア 生産

生産指数は 101.3 で、前年比 0.5% の上昇

(増加した品目) 納豆, 清酒, 清涼飲料 等

(減少した品目) その他の酒類, 即席麺 等

イ 出荷指数は 99.4 で、前年比△2.3% の低下

ウ 在庫指数は 103.3 で、前年比 3.8% の上昇

エ 四半期別生産

生産指数の年間の動きを前期比(季節調整済指数)で見ると、平成 19 年 1～3 月期は 2.4%、4～6 月期は△1.6%、7～9 月期は△0.3%、10～12 月期は△1.9% となった。

前年同期比(原指数)では、平成 18 年 7～9 月期以降 4 期連続で上昇していたが、平成 19 年 7～9 月期以降 2 期連続で低下した。

